

# 凡事徹底

## 令和8年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和8年 4月1日  
校長 小澤 裕行

### 1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に勤める必要があります。そして本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだにとらえます。また板橋区立小学校として、「**MIRAI SCOOL いたばし**」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、**MIRAI SCOOL いたばし**の実現を具現化することは、板橋第二小学校教職員一人一人に課せられた責任であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、**共通指導・共通行動**をとっていく必要があると考えます。

いずれにしても、心掛けることは、「**凡事徹底**」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

### 2 板二小が目指す学校像

#### ○子供たち、先生たちが元気な学校

全ての中心は、子供たちです。子供たちが元気でなければ、何の意味もありません。また、それらを導く先生方が元気でなければ、子供たちを元気にすることはできません。教育改革が叫ばれ、制度が変わっても、学習内容が変わっても、**行うのは人間すなわち教師です**。成果はすぐには出ません。ま

た成果を挙げるのに特効薬はありません。一つ一つやるべきことに、きちんと取り組むしかありません。教師も子供も「**凡事徹底**」を図ることが目指す学校像を達成するにつながると考えます。

↓

## 改めて 板二小が目指す学校とは

### 【子供から見て】

- ① **受容的、共感的、肯定的な雰囲気**があふれる学校
- ② 自分の**居場所がある**学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ **やればできるという思い**を実感させてくれる学校

### 【教職員から見て】

- ① **いつまでも勤務したい**と思う学校
- ② **誇りをもてる**学校
- ③ 各自が**職責を果たす**と共に、必要な場合助けあい、**組織として取り組める**学校

### 【保護者から見て】

- ① **通わせて良かった**という思いをもてる学校
- ② **学校ならびに教員を支えたい**と思う学校

### 【地域から見て】

- ① 地域の**自慢できる誇れる**学校
- ② 学校ならびに教員を支えたいと思う学校
- ③

## 4 板二小が目指す児童像

（学びのエリアで目指す児童像）

### 「自律」と「自立」

- 自ら考え、挑戦し続ける子
- 自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子
- 心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

👉 学びのエリアでの具体的な取組

- ① 読み解く力の基礎的読解力を基盤とした、選択・決定・調整による深い学びの実装。（板橋区教育委員会 板橋の教育ビジョン研究奨励校）

- ② 一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力の育成
- ③ 特別の教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自主、自律、自由と責任、親切、思いやり、感謝」）の実施
- ④ 総合的な学習の時間等による 地域・環境に関わる探求学習の推進
- ⑤ 学級活動を通して、学校生活をよりよく改善するために主体的に取り組む力の育成
- ⑥ 不登校支援を目的とした校内居場所の充実

## 5 学校の教育目標

### ① 自分でする子ども【自立】【創造】

自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。

### ② 思いやりのある子ども【貢献】【共生】

豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。

### ③ じょうぶな子ども

健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。

☆学力向上 ・ 小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」を基盤に、選択・選択・調整による深い学びの実装（板橋区教育委員会研究奨励校）

- 礼儀・規律の徹底
- 家庭・地域との連携
- 一人一人の居場所や活躍の場の提供 ・良好な人間関係づくり
- 自治的な活動の充実 ・学級活動を中心に据えて
- 教科担任制の導入による各教科の充実（東京都教科担任制加配校）

## 7 学校の教育目標に関する 目標と具体的な取組

### ○自分でする子ども……知【自立】【創造】

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
  - ・学習規律の確立を図る……規律の徹底が学力向上に通じる。  
（教師の力量）
  - ・読み解く力（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）を基盤として取り組む。
  - ・ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）の充実
  - ・個に応じたきめ細かな指導の実施
  - ・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。

- ・スタディアップタイムの充実 ⇒読み解く力の育成と見える学力、見えにくい学力、見えない学力の向上を念頭に。
- ・放課後学習教室、夏季学習教室の実施
- ・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得
- ・書くことの重視 1時間の授業の中で文字を、文章をたくさん書かせる。ふりかえり まとめを毎時間文章で書かせる。低学年のうちに、書くことをたくさん経験させる。

② 家庭学習の習慣化

- ・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンの「すらら i」を用いる。
- ・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。  
(スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み)

③ 見えにくい学力・見えない学力の定着向上

- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダード S の実践  
(なぜ?という問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視)
- ・言語活動を重視した授業の実施  
(音読。たくさん書く活動。習った語彙を書くような場面を意図的に設定する。
- ・体験活動を取り入れた授業の実施（興味関心を高め 意欲をもたせる）
- ・自分で課題を決め取り組む自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使つての取組）
- ⇒家庭学習でも 見えない学力を育むため、自己で選択・決定・調整できる学習の仕方を取り入れていく。
- ・一人一台端末の効果的な活用（デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など全ての ICT 機器を含む）
- ・読み解く力の基礎的読解力を基盤に、自己で選択・決定・調整できる授業等による学力の定着・向上 ⇒学びのエリアの取り組み
- ・探求的な学習の推進（総合的な学習の時間）※学びのエリア重点 総合的な学習の時間内に地域・環境に関するテーマを設ける。
- ・学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）
- ・学校図書館機能の充実  
主体的・対話的で深い学びの実現に向けての活用を  
(R2 文科省 総合政策局地域学習推進課発信を参考に)

○思いやりのある子ども……徳【貢献】【共生】

共通行動・共通指導

① 挨拶・返事・清掃活動の重視。

- ・挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」  
相手の目を見て 聞こえる声で
- ・返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」
- ・清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 迅速に

いじめは、どんなことがあっても見過ごさない。許さない。

② 心の教育の充実

- ・道徳授業の充実 特に※学びのエリア 具体的な取組 3 参照  
(児童の振り返り、道徳ノートへの記入を通して)
- ・人権感覚の醸成  
(栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話『人権担当と連携して』、  
道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針)
- ・ルールとマナーの遵守の徹底 (生活指導の充実)

③ 人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視

- ・地域清掃、募金活動などへの取組

④ 豊かな人間関係作りの推進

- ・異学年交流 (たて割班による活動 ……児童集会 遊び 学級会  
清掃 板二まつり等あらゆる場で工夫して)
- ・良好な学級集団作り (学級経営・専科経営の徹底)

- ・幼保小中との交流活動の実施 (幼稚園、保育所、中学校との交流)

児童理解

- ・Hyper Q-U を活用した居場所・充実感のある学級作り
- ・特別活動の取組  
(学級活動の時間を大切にし、自分たちの身近なことを自分たちで考える)  
(板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会  
音楽会、入学式、卒業式等)
- ・地域人財の活用 (昔遊びや総合学習の郷土愛をはじめとするゲストティー  
チャー 1 年生下校時付き添いなど)

○じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り

## 組む

### ① 教科体育の充実

- ・運動の質と量の向上（教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践）  
**長寿命化工事を見据えた意図的計画的な 指導時期の変更**
- ・体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

### ② 運動の日常化

- ・休み時間の確保と戸外遊びの奨励。
- ・行間体育の充実  
全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施など 全校で取り組む場の設定。

### ③ 健康教育の推進

- ・食育の取組
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

## 8 目指す学校像・児童像からの具体的な目標と取組

### どの子ども充実感、帰属感が味わえる学校づくり

#### ① 特別支援教育の充実

- ・特別支援教室の充実、
- ・校内特別支援委員会の充実や推進

居場所づくり

#### ② 夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

- ・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用

#### ③ 達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

- ・児童一人一人に様々な役割と活躍の場面を意図的計画的に与える。  
⇒小規模校の特性を生かし、子供たちに多くの活躍の場を与えていく。

## 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

#### ① 清掃の行き届いた清潔な環境の整備

#### ② 整理・整頓された教材・教具

- ・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

- ③ 靴のかかとがそろった昇降口、傘がきちんと入ってある昇降口
- ④ 児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って

### 安全・安心で、信頼される学校づくり

- ① 施設・設備・教材の点検と修繕
  - ・安全点検日の設定と実施
  - ・日常の校内巡視
- ② 安全に配慮した教育活動の実施
  - ・綿密な計画のもとの実践
- ③ 防災・防犯・交通安全指導の実施
  - ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練  
情報モラル教室、安全マップ作り等の実施
- ④ 各種マニュアルの整備と改善
  - ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応  
アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等
- ⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）
- ⑥ 個人情報・個人に関する（係わる）情報への意識
- ⑦ 教員によるサービス事故防止

危機管理 油断大敵

### 保護者・地域等、外部とのつながり

- ① 参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進
- ② 教育活動の積極的な公開と発信
  - ・ホームページ、  
学校だより、  
学年だより、  
ほけんだより等を通じた発信
- ③ 地域人財の積極的な活用
  - ・保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業

- ・ iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用

- ④ 学校評価の実施と結果の公表及び学校運営の改善
- ・ iCS による学校運営への参画

## 9 特色ある教育活動の視点からの具体的な目標と取組

SDG`s の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進

### キーワードは 「体験」

※第2ビオトープの整備の継続と長寿命化工事を迎えて学級花壇（栽培園）の再構築

- ・ 環境教育年間計画の確かな実践
- ・ 総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性
- ・ ビオトープの活用
- ・ 栽培活動の充実
- ・ 3R 活動の推進
- ・ 児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人財【外部の力】）
- ・ 環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
- ・ 各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組  
（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）

### 本校の特色・最重点項目

## 10 教職員 学校組織に関して

### 教職員としての資質向上

- ① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援
- ・ 児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談
- ② 教職員研修による授業力の向上
- ・ 読み解く力の基礎的読解力を基盤とした児童一人一人が自己で選択・決定・調整による深い学びの実装
  - ・ どの子もねらいを達成できるような授業の工夫。  
「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる授業の重視。
  - ・ 悉皆研修、自主研修の活用、板橋アカデミアの活用
  - ・ 板橋授業スタンダードSの実践
- ③ 職層や立場・役割を自覚した行動
- ④ 各自の能力開発
- ・ 自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力（「学習指導力」「生活指

導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」)の活用

- ⑤ 学習指導要領を深く理解し、校内研究を核として、各種のタイムリーな校内研修の実施。主体的・対話的で深い学びに関する研修  
特別支援教育に関する研修等々 その時に応じてタイムリーな研修を

相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上

- ① 教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化
- ② 支え合う協働的な関係の構築

報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

公務員としての服務規律の徹底

- ① 服務事故 ゼロ

(4) 各職層が果たすべき内容の熟知と実践

教諭、主任教諭、主幹教諭、副校長、校長、それぞれの役割を尊重するとともにその職責を果たす。必要な場合は、関係者が集まって話し合うようにする。

(5) 働き方改革 校務改善の徹底

子供も大人（教師）も「凡事徹底」を意識して行動する